

地域の声をくみ取って 小倉の活性化を！

議員 昨年認定された中心市街地活性化基本計画のうち、小倉地区の計画の進捗状況と平成21年度の具体的な取り組みを尋ねる。

また、同計画の目標達成には、官民を挙げて取り組む必要がある。事業の具体化に当たっては、地元商店街の声を十分にくみ取るなど、行政の押し付けにならないようにすべきだと思うが、見解を尋ねる。

市長 小倉地区では、現在、小倉駅北口の新たな拠点づくりを行う小倉記念病院の移転事業や、四季折々のイベントを行う小倉都心にぎわいづくり推進事業を進めている。

平成21年度は、道路で分断された商店街をアーケードで連結する魚町銀天街ショッピングモール化事業をはじめ、市の予算として約79億円を計上しており、8割以上の事業で具体的な取り組みがスタートする見込みである。

建築都 事業の実施に当たっては、**市長** 地元商店街や自治会等が参画している中心市街地活性化協議会を中心に関係者が一丸となって取り組んでいる。

今後、目指すべきものの共有化を図りながら、地域と市が一体となって活性化の実現に向けて取り組みたい。

北九州港開港120周年 記念事業の取り組みは？

議員 本年は北九州港の開港120周年である。これを機会に、より多くの市民に、港の役割や海辺の楽しさ等を感じ取れるように周知してほしい。開港120周年記念事業では、どのような取り組みを行うのか。

市長 この記念事業は、市民に港が果たす役割等を理解して

もらうとともに、海辺の楽しさ等を感じ取ってもらうことを基本方針としている。「身近な港、楽しい海辺、再発見」を基調テーマに、4月以降、さまざまな事業を実施する予定である。

まず、5月に、オープンングイベントとして、人気テレビ番組「出張！なんでも鑑定団北九州」の公開収録を誘致している。番組を通じて、全国に北九州港の歴史と伝統をPRしたい。

さらに、10月には、記念事業の目玉として、トップアスリートによるビーチパレーや、さまざまなビーチスポーツを体験できる「ビーチライフ北九州」を門司港の西海岸地区で実施する予定である。このイベントは、広域からの集客も見込まれるため、市の観光振興にも寄与すると考えている。

このように、北九州港から「元気発進」する記念事業の実施により、市民に港の重要性について認識を深めてもらうとともに、北九州港のより一層の活性化につなげたい。



門司港の西海岸地区

セキュリティは大丈夫？

議員 ワンストップサービスの実現に向けて

本市は、平成19年度から情報システムごとに分散して管理している住民基本台帳や税などの

市民サービスに関する個人情報統合し、区役所窓口のワンストップサービスを実現させる取り組みを行っている。そこで、ワンストップサービスの今後のスケジュールと情報漏えい防止策について尋ねる。

総務市 区役所のワンストップサービスは、業務の処理方法が大きく変わることや新たなシステムを利用することから、事前準備や実施時の支援体制がとりやすい小倉北区役所で平成22年5月に実施し、残りの区役所は翌年5月に実施する予定である。

また、情報漏えい防止策としては、ICカードによる制限を設け、システムの操作内容がすべて記録される仕組みも導入している。外部からの不正アクセスに対しても、ハードウェア、ソフトウェアおよびネットワークにおいて十分対策を講じている。今後は、職員に対する情報セキュリティ研修をさらに充実し、また、定期的に外部の専門家による情報セキュリティ監査を実施することで、万全を期したい。

議員 ワンストップサービスは、住民異動や保険、年金など市民生活に深くかかわる申請や届出を一つの窓口で処理できるようにしたい。

1年中キャンプができるように

議員 平尾台自然の郷にあるキャンプ場は、立地も景観も良いが、宿泊利用は4月末から10月までと限定されている。年間を通してキャンプを楽しむ愛好家が増えているため、通年営業にすべきではないか。

また、市内のキャンプ場で、テントの規格が合わない施設については、有効活用と利用促進を図るためにも、改善が必要ではないか。

建設局長 平尾台自然の郷のキャンプ場は、宿泊キャンプは4月下旬から10月末まで、日帰りキャンプ

は通年で利用が可能である。冬季の利用者はほとんどなく、毎年実施している利用者アンケートでは、宿泊キャンプで通年利用の要望は出ていない。

しかし、冬場の利用は平尾台の魅力アップにつながるため、引き続き利用者の意見を聴きながら、希望の声があれば、宿泊キャンプの通年利用について検討したい。

また、市内のキャンプ場のうち2カ所については、地形や底地の状況からやや狭い区画となっており、持ち込んだテントに合わない場合もある。

今後は、このようなキャンプ場にテントの持ち込みがあった場合には、空いた広場を提供するなど、安全を確保しながら柔軟に対応し、施設の改善についても利用状況を見ながら検討していきたい。



平尾台自然の郷キャンプ場

どう取り組む？暴力団対策

議員 市のイメージに関するアンケート調査では、市外の悪いイメージであり、企業誘致や観光振興にとって計り知れないダメージがある。

このような中、福岡県警は、本年の最重要目標として暴力団犯罪の撲滅を掲げている。本市は今後、暴力団対策にどのように取り組むのか。

市長 本市の暴力団対策としては、警察、弁護士会等の関係機関と連携しながら、暴力追放大会等の啓発活動や北九州方式といわれる暴力団等介入排除対策会議の実施による公共工事からの暴力団の排除等を中心に行っている。

さらに、平成21年度からは、工事現場への妨害を防ぐために、特に必要と認められる市の公共工事に対して、監視カメラを設置することになっている。

また、小倉都心部に建設中の「仮称」堺町安全・安心センターを、平成21年度の早い時期にオープンできるように準備を進めている。この施設は、警察の堺町特別対策隊の詰所として使用するともに、地元住民の暴追・防犯団体等の活動スペースも確保し、暴力追放に向けた市民、警察や行政の新たな連携による活動の拠点としたい。

市営バスは民営化されるの？

議員 市営バス事業では、平成18年度から5カ年の経営改善計画に基づき、経常収支や単年度資金収支の黒字化という目標の達成に向けて努力している。今後、同計画の目標が達成できない場合、市営バス事業の民営化も視野に入ってくるのか。

交通局長 市営バス事業については、平成21年度に経営改善計画の結果を検証し、同計画の目標等を達成できなかった場合は民営化し、達成できた場合は次期の5カ年計画を実施して、以後の経営形態を判断するという基本方針が示されている。

そこで、交通局では、①労働条件の見直しや運行ダイヤの抜本的な見直し

等による経費の削減、②営業活動の強化による増収対策等を柱とする経営改善に取り組んできた。

今後の経営形態の在り方は、平成20年度の決算が明らかになった時点で、総合的に判断されるものと考えている。交通局としては、まずは経営改善計画の目標を達成し、次期の5カ年計画を策定することができるよう最大限の努力をしたい。

市立病院の財政再建の見通しは？

議員 市立病院の経営は、医師の待遇を改善するために新たに経費が増加するなど危機的な状況にあるが、市病院事業経営改革プランに基づき取り組んでいる財政再建の見通しを尋ねる。

病院局長 昨年1月に策定した同プランに基き取り組んできた同プランの指定管理運営改善策は、①門司病院での指定管理運営制度の導入、②医療センターでの外来化学療法センターの開設、③八幡病院での小児医療の充実強化などである。

また、現在、医療センターでは、経営コンサルタントを導入して、病床利用率の向上や手術室の一層の活用といった早急に解決すべき課題の改善策を検討している。さらに、平成21年度は、経営コンサルタントの対象を医療センターの経営全般に拡大して、抜本的な経営の立て直しに取り組みたい。

今後の同プランの見直しは、若松病院は、内科医師が不在であり目標達成は厳しいが、医療センターと八幡病院は、これからの経営改善の取り組みによって、何とか同プランの目標を達成したい。

同プランの最終目標は、病院事業全体の収支の均衡である。そこで、経営コンサルタントという外部の眼を加えながら、同プランを一層推進することにも、医師の確保や定着の取り組みを強め、病院事業の再建に努めたい。